埼玉県公立高校の入試システム

〔2016年春〕

基本の『き』 1 入試の流れはどうなっているの？

2015年からは入学願書提出後の志願変更が１回に

日程は2017年春予定（全日制）

一般募集

- **入学願書の提出** 2/20・21 ●入学願書 受検票 調査書 を受験する高校へ持って行く（または郵送）
  詳しくは p84「調査書にはどんなことが書かれているの？」
- **志願先変更** 2/23・24 ●受験する高校（学科・コース）を１回だけ変更できる
  - 各高校の倍率を県のホームページや新聞などで確認しよう！ 必要なければもちろん，変更しなくてもいいんだ
- **学力検査** 3/2 ●全員が学力検査を受験
- **実技・面接** 3/3（一部の学校） ●芸術・体育系の高校は実技検査を実施 ●一部の高校で面接を実施 ドキドキ！
- **合格発表** 3/10
  - 合格 受検票を持って受験校に行き，合格なら選抜結果通知書を受け取ろう！

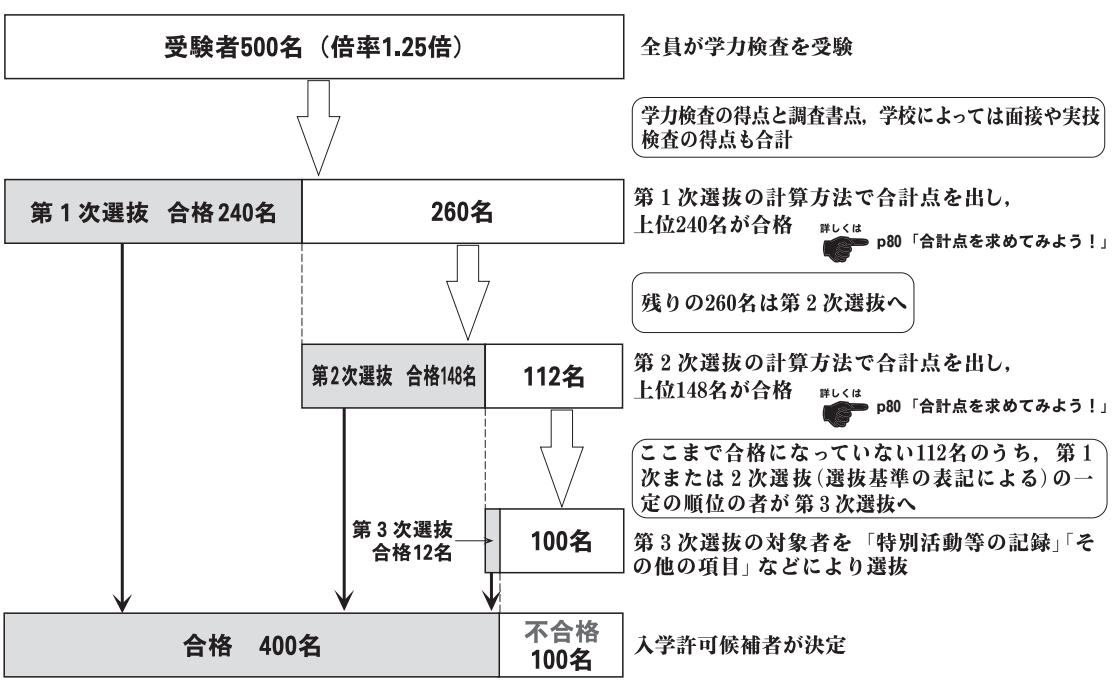
欠員補充 ＊日程や内容は実施する高校が決める

- 実施されるのは一般募集で合格者が定員に満たない高校のみだよ

基本の『き』 2 合格者はどうやって決められる？

学力検査と調査書，その他の資料（面接など）で選抜

■定員400名／受験者500名　第１次選抜60%　第２次選抜37%　第３次選抜３%の場合



＊受験者の得点状況により，人数は若干の変動があります。

押さえておきたい基礎知識

1 選抜基準…入学者を選抜する資料の配点や扱い方が記載される

自分の志望校は何を重視しているのか？ 高校ごとに選抜資料の配点などを定めているので，気になる高校の選抜基準は必ず確認しましょう。 ＊高校ごとに数値や言葉が異なります。

県立○○○高等学校（△△科） 2016入試「参考」

選抜の基本方針

(1) 学力検査を重視する。
(2) 調査書の「特別活動等の記録」で実績を残した者の選抜に配慮する。

選抜資料

○ 学力検査の扱い …… [500点]　（5教科で各科100点満点）

○ 調査書の扱い
- 学習の記録の得点（1年：2年：3年 ＝ 1：1：2）…… (180点)　（内申）
  （1年次内申(9教科×5)×1＝45点，2年次内申(9教科×5)×1＝45点，3年次内申(9教科×5)×2＝90点 の合計）
- 特別活動等の記録の得点 …… (50点)
- その他の項目の得点 …… (20点)

…… [250点]

○ その他の資料 面接 …… [50点]

＊〰〰の数値は高校によって異なる

一般募集

● 第1次選抜（60%を入学許可候補者とする）　（第1次選抜定員の60～80%内で各高校が決める）

（各資料の配点）「選抜資料」の「調査書の扱い」を $\frac{350}{250}$ 倍する

①学力検査	②調査書	③面接	④合　計
500点	350点	50点	900点

● 第2次選抜（36%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）「選抜資料」の「調査書の扱い」を $\frac{215}{250}$ 倍する

⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合　計
500点	215点	100点	815点

1次選抜から2次選抜になると，調査書の重みが 350→215点 と軽くなっています。つまり，学力検査重視になったということです。面接は 50→100点 と1次より重視されています。

● 第3次選抜（4%を入学許可候補者とする）　「選抜資料」の「面接」を $\frac{100}{50}$ 倍する

第2次選抜における合計得点の一定の順位の者を対象に，特別活動等の記録の得点で選抜する。

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（50点）】

○部活動　運動部　全国大会出場，関東大会出場，県大会出場など
　　文化部　全国大会出場・出展，関東大会出場・出展
　　県大会等に出場・出展・入賞など

○生徒会活動　生徒会長，生徒会副会長，各種委員会委員長，顕著なボランティア活動

（資格取得も得点の対象に）

【その他の項目の得点（20点）】

○取得資格等　英語検定3級以上，漢字検定3級以上など

○出欠の記録　出欠状況が特に良好な場合に得点を与える

（選考の対象は「第1次選抜」または「第2次選抜」で，合計点が一定の順位以上の受験者から各校が選抜します。）

ポイント

「特別活動等の記録」や「その他の項目」は具体的に書かれていても，各項目の配点は公表されていません。このあたりに不透明さが残っています。実際の入試では受験生にあまり差がつかないようにしている高校もあるようです。

第2志望

なし

（同じ高校に他の学科・コース・系がある場合の第2志望の扱いについて書かれています。）

その他

なし

（通学時間や通学距離の扱いなどが記載されています。）

（注） 第1次選抜，第2次選抜および第3次選抜の人員については，同点者の扱いや，小数点以下の数値処理などの理由により，若干増減することがあります。

★「平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」は埼玉県教育委員会ホームページに7月以降掲載されます。

このページの数値を用いて，P80で具体的に計算方法を説明します。

押さえておきたい基礎知識

2 合計点を求めてみよう！

前ページの選抜基準を参考に，合計点（p79「選抜基準」の一般募集の欄④，⑧）を具体的に求めてみましょう。

合計点はどうやって計算する？

【Aさんの得点例】　太字は実際の得点，細字は各項目の満点とします。

学力検査の扱い			**325点**/500点
調査書の扱い	学習の記録の満点（1年：2年：3年＝1：1：2）	**144点**/180点	**189点**/250点
	特別活動等の記録の満点	**35点**/50点	
	その他の項目の満点	**10点**/20点	
その他の資料	面接	**30点**/50点	

調査書の計算方法
第1次選抜の調査書の満点は350点なので，「調査書の扱い」の189点（250点満点）を $\frac{350}{250}$ 倍します。

（189点×$\frac{350}{250}$）

＜第1次選抜＞　p79の①～④の場合

学力検査	調査書	その他	合計
325点 /500点	**265点** /350点	**30点** /50点	**620点** /900点

5教科の合計点（500点満点）は，そのまま扱います。

問題　では，第2次選抜の配点が次のようになっているとき，Aさんの合計点は何点になるのでしょうか。（ア）～（エ）にあてはまる点数を計算してみましょう。

＜第2次選抜＞　p79の⑤～⑧の場合

学力検査	調査書	その他	合計
（ア）点 /500点	**（イ）点** /215点	**（ウ）点** /100点	**（エ）点** /815点

解答　（ア）「学力検査」の得点はそのまま扱うので，**325点**です。

（イ）「調査書の扱い」は250点満点であるのに対し，第2次選抜では215点満点なので$\frac{215}{250}$倍します。したがって，189点×$\frac{215}{250}$＝162.54点。小数第1位を四捨五入するので**163点**です。

（ウ）「その他の資料」の面接は50点満点であるのに対し，第2次選抜では100点満点なので$\frac{100}{50}$倍します。したがって，30点×$\frac{100}{50}$＝**60点**です。

（エ）（ア），（イ），（ウ）の得点を合計します。325点＋163点＋60点＝**548点**となります。

押さえておきたい基礎知識

3 3年次の内申の重みは？

内申（評定） ➡ **各教科の成績を「5」「4」「3」「2」「1」で評価したもの**
1学年の内申合計は，5（段階評価）×9（教科）＝45（点満点）

調査書の内申は学年別に記載され，内申の重みづけは，学校ごとに決めることができます。たとえば，県立浦和は1年：2年：3年＝1：1：2で，3年次の内申を重く見ているといえます。なお，2学期制の中学校の3年次の成績については，1学期（または前期）の成績に可能なかぎり2学期（または後期）の成績を加味して記載されます。受験生の内申は，3年次の12月ごろ，面談時などに担任の先生から口頭で伝えられるのが一般的です。

全体に占める3年次の内申の重み（%）

★p79「選抜基準」における「調査書の扱い」の「学習の記録の得点」は，以下のように計算されます。

〔Aさんの学習の記録の得点〕	1年次内申	2年次内申	3年次内申
内申9科合計	36	34	37（満点各45点）

「1年：2年：3年」＝「1：1：2」の高校の場合，

Aさん　36×1＋34×1＋37×2＝144点
（満点　45×1＋45×1＋45×2＝180点）

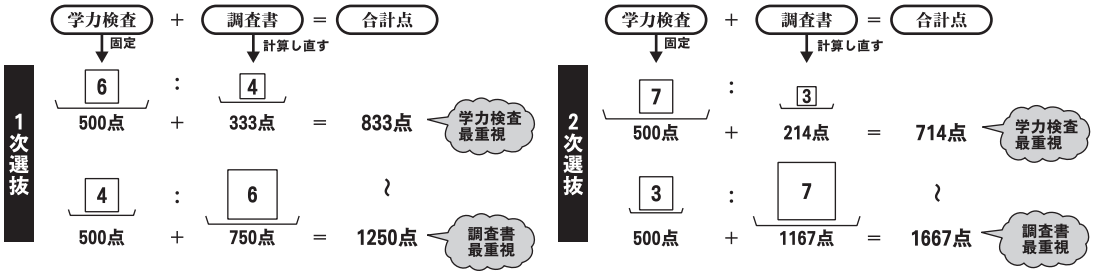
➡内申の学年ごとの比率は，高校によって異なる

押さえておきたい基礎知識

4 調査書の重視度は高校によって違うの？

調査書点 ➡**「学習の記録の得点（内申）」＋「特別活動等の記録の得点」＋「その他の項目の得点」＝「調査書点」で，「調査書点」は第1次・第2次選抜ごとに計算し直して用いる。**

学力検査と調査書のどちらを重視するかは，高校によって異なります。学力検査は500点満点で，そのまま扱いますが，調査書点は，第1次選抜なら333～750点，第2次選抜なら214～1167点の間で高校が定めることができます。



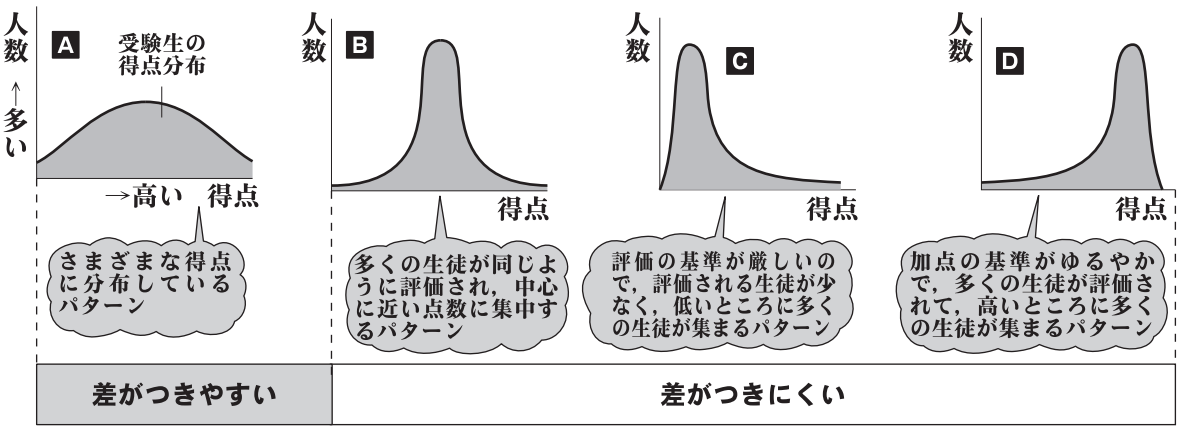
➡高校によって重視度は異なる

入試をもっと深く知ろう

1 「特別活動等の記録」や「その他の項目」はどのくらい選抜に影響するの？

高校によりさまざまです。高校の「求める生徒像」に基づき，配点や評価基準が決められます。

※縦軸は人数，横軸は「特別活動等の記録」と「その他の項目」の合計点



p79の「選抜基準」を見れば，その高校の「特別活動等の記録の得点」と「その他の項目の得点」の合計点が70点であることは事前にわかります。しかし，たとえば生徒会役員や各種委員会委員長，大会出場実績，資格取得などに対する配点までは明記されていません。

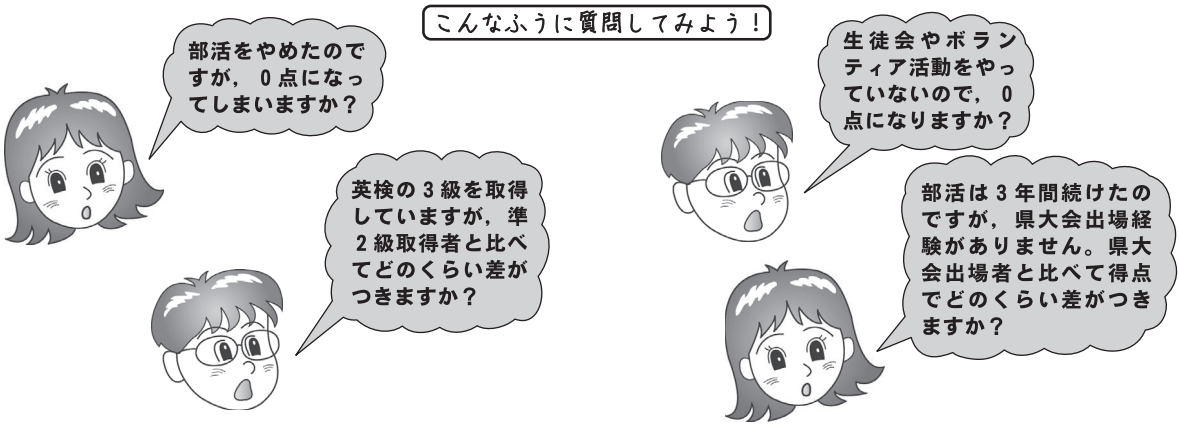
一般的にはAのような得点分布になると推測されますが，点数のつけかたによっては，B・C・Dのように，内申以外の項目で差がつきにくい配点になることもあると思われます。Bは「受験生のほとんどが部活には入っているが，県大会以上の実績を持っている受験者は少ない。一方，その他の項目では，英検取得が多くの受験生にあてはまる」というようなケースです。CとDは上位校の一部でときおり見られると推測されます。

B・C・Dの場合，一部の受験生を除き，実質的には学力検査と内申だけでの選抜となるため，学力検査の占める比重が大きくなります。

まずは，各高校が公表している選抜基準の「調査書の扱いの詳細」によく目を通すことが大切です。しかし，学校により差があり，内容も違うため，気になることは学校説明会に参加してどんどん質問しましょう。

内申以外の項目をどのように扱っているのかをおおまかに把握し，学校選択の参考にするとよいでしょう。

こんなふうに質問してみよう！



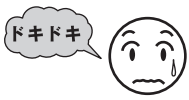
■具体的な点数は明らかにされていませんが，学力検査でばん回できないほどの差がつくことはあまりないでしょう。

入試をもっと深く知ろう

2 学力検査重視と調査書重視での合否は変わるの？

学力検査と調査書による選抜で，傾斜配点もその他の検査も行わない場合，学力検査重視のときと，調査書重視のときでは合否にどう影響するのでしょうか。Aさん と Bさん を例にとって見てみましょう。

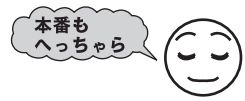
Aさん … 内申は良いが試験では緊張するタイプ



学力検査点 275点（500点満点）

調査書点 内申160点，特別活動等40点，その他の項目10点で210点（250点満点）

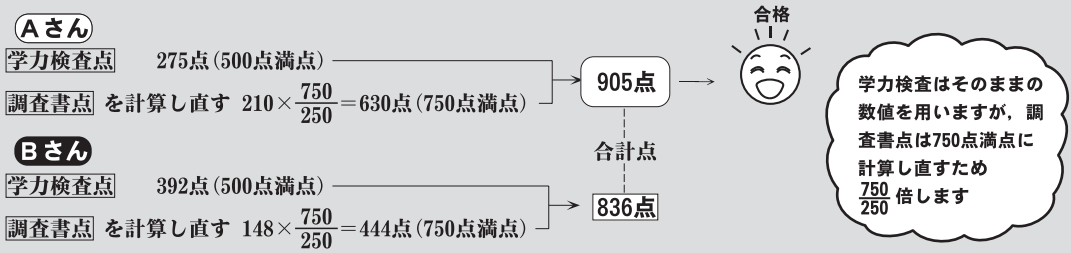
Bさん … 内申はさほど良くないが模試ではいつも成績が良かったタイプ



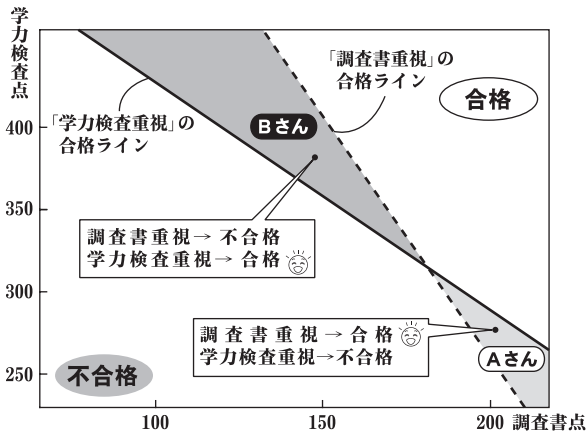
学力検査点 392点（500点満点）

調査書点 内申128点，特別活動等10点，その他の項目10点で148点（250点満点）

● 調査書重視（学力検査500点満点：調査書750点満点）の場合〔合格最低ライン…850点とする〕



解説 調査書重視の選抜では，学力検査点で下回っていても調査書点の高いAさんが合格となります。



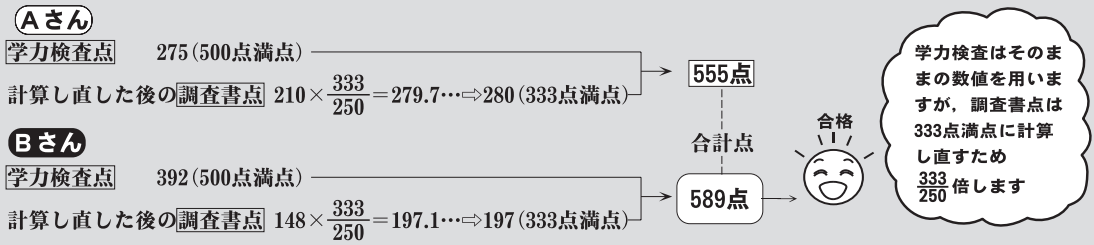
Aさん，Bさんの得点では「学力検査重視」か「調査書重視」かによって，合否が分かれます。

「学力検査重視」の場合は「実線（——）」よりも上に位置するBさんが合格で，下に位置するAさんが不合格です。

「調査書重視」の場合は「点線（- - -）」よりも上に位置するAさんが合格で，下に位置するBさんが不合格です。

学力検査重視の場合，内申１点の重みが軽くなる！

● 学力検査重視（学力検査500点満点：調査書333点満点）の場合〔合格最低ライン…560点とする〕



解説 学力検査重視の選抜では，調査書点でかなりの差があっても得点力のあるBさんが合格となります。

知っておくとためになる知識

1 調査書にはどんなことが書かれているの？

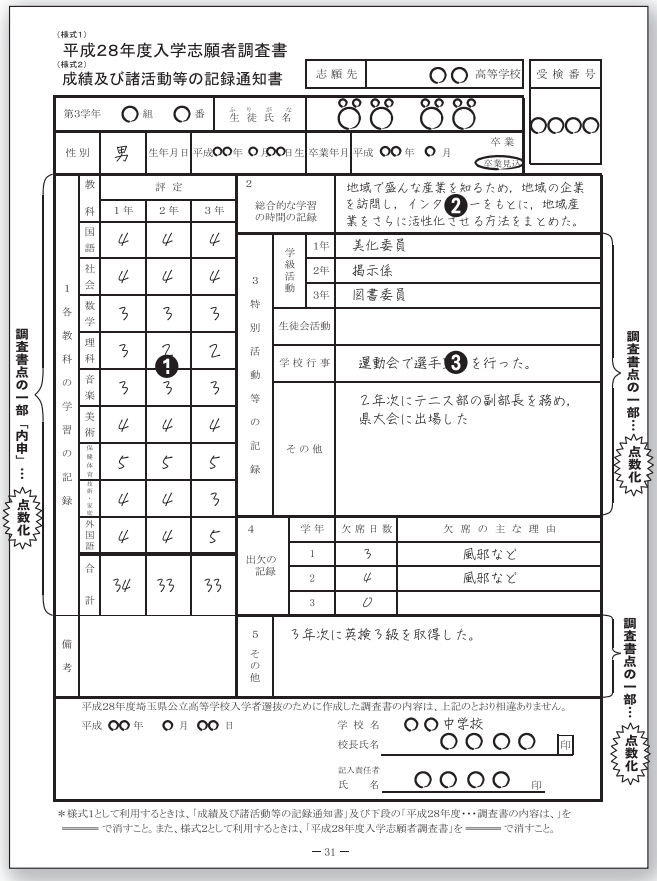
調査書に記載される内容を知っておくことで，中学校生活のどんな場面が入試にかかわってくるのか，意識することができます。

調査書 ➡各教科の成績や中学校生活のようすを記録した資料

❶各教科の学習の記録…「評定」は，各教科別に，第１学年，第２学年および第３学年の成績が５段階で評定欄に記入されます。

❷総合的な学習の時間の記録…第３学年の第１学期・第２学期の学習を中心に，学習の状況や成果などについて記述されます。

❸特別活動等の記録…学級活動，生徒会活動，学校行事，その他について，務めた委員（係）名や役員名，顕著な活動歴，学校行事や部活動，その他の特別活動での具体的事項が記入されます。



（様式1）
平成28年度入学志願者調査書
（様式2）
成績及び諸活動等の記録通知書

志願先 ○○高等学校　受検番号 ○○○○

第3学年 ○組 ○番　生徒氏名 ○○ ○○

性別 男　生年月日 平成○○年○月○○日生　卒業年月 平成○○年○月 卒業見込

1 各教科の学習の記録	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	4	4	4
数学	3	3	3
理科	3	3	2
音楽	3	3	3
美術	4	4	4
保健体育	5	5	5
技術・家庭	4	4	3
外国語	4	4	5
合計	34	33	33

2 総合的な学習の時間の記録：地域で盛んな産業を知るため，地域の企業を訪問し，インタ❷ーをもとに，地域産業をさらに活性化させる方法をまとめた。

3 特別活動等の記録
- 学級活動 1年：美化委員
- 学級活動 2年：掲示係
- 学級活動 3年：図書委員
- 生徒会活動：
- 学校行事：運動会で選手❸を行った。
- その他：2年次にテニス部の副部長を務め，県大会に出場した

4 出欠の記録

学年	欠席日数	欠席の主な理由
1	3	風邪など
2	4	風邪など
3	0	

5 その他：3年次に英検3級を取得した。

備考

平成28年度埼玉県公立高等学校入学者選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。

平成○○年 ○月 ○○日　学校名 ○○中学校　校長氏名 ○○○○ 印　記入責任者 氏名 ○○○○ 印

＊様式1として利用するときは，「成績及び諸活動等の記録通知書」及び下段の「平成28年度…調査書の内容は、」を＝＝で消すこと。また、様式2として利用するときは，「平成28年度入学志願者調査書」を＝＝で消すこと。

－31－

調査書点の一部…「内申」…点数化

調査書点の一部…点数化

調査書点の一部…点数化

（2016年入試参考）

知っておくとためになる知識

2 学力検査について知っておこう！

学力検査の時間や持ち物は？

2017年の学力検査は３月２日（木）に行われます。次の時間割（2016年春）を参考にしてください。

【参考】2016年春の学力検査時間割　集合時刻は8：45で，はじめに「一般諸注意」がある。

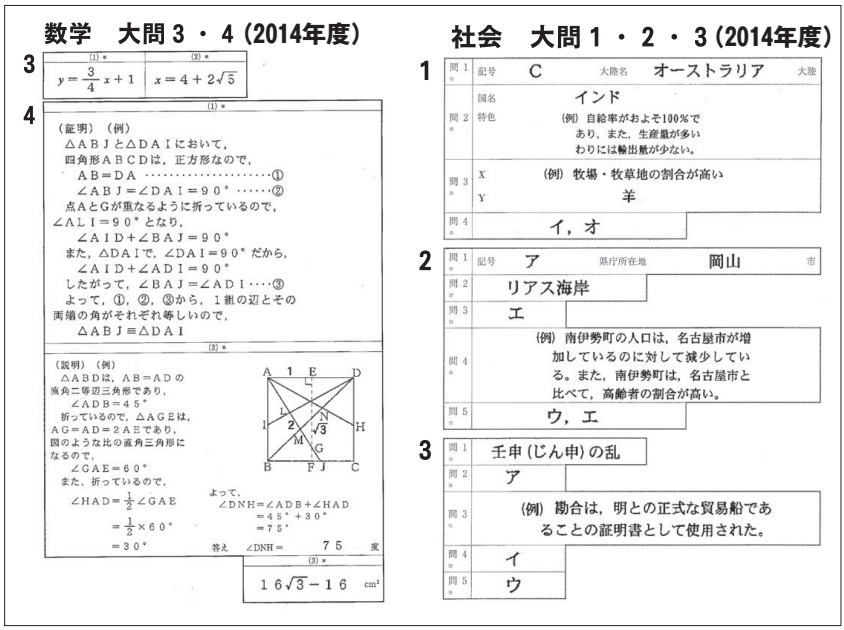
教科	国語	数学	社会	理科	英語
時刻（試験時間）	9：25～10：15（50分）	10：35～11：25（50分）	11：45～12：25 ＊1（40分）	13：20～14：00 ＊1（40分）	14：20～15：10 ＊2（50分）

＊1：社会・理科は2017年春より各40分→各50分に変更。　＊2：英語はリスニングテストを含む。

配点は各教科100点で，500点満点。県の共通問題で実施されます。検査時に使用を認められているものは鉛筆・消しゴム・三角定規・コンパス，計時機能のみの時計です。

答えを求めるだけではなく，表現する力を養おう！

学力検査では，ただ語句や数値を答える問題だけでなく，考え方や理由などを記述させる問題や，国語では作文が出題されてきました。2017年春の学力検査でもその傾向は続くと思われます。教科の知識に加え，自分の考えを表現する練習もしておきましょう。右図は過去の学力検査問題の解答用紙の一部です。参考にしてください。



学校選択問題

2017年より高校の判断で，数学・英語の一部に「学校選択問題」が実施できるようになりました。作問は県教育委員会が行い，共通問題より難度が高い応用的な内容になります。

2017年春実施校：浦和・浦和第一女子・浦和西・大宮・春日部・川口北・川越・川越女子・川越南・熊谷・熊谷女子・熊谷西・越ヶ谷・越谷北・所沢・所沢北・不動岡・和光国際・蕨・市立浦和

※各校とも数・英で実施

傾斜配点を行う高校も

専門学科の一部高校では「傾斜配点」を行います。特定の教科に比重を置くので，該当する教科を得意とする受験生には有利になります。

外国語科（コース）…英語×２倍 ➡ 大宮光陵，越谷南，坂戸，南稜，和光国際

人文科…英語・国語・社会×２倍 ➡ 春日部東

理数科…数学・理科×２倍 ➡ 大宮，市立大宮北，熊谷西，松山　（2016年春実施校）

知っておくとためになる知識 3 面接について知っておこう！

面接 ➡ 実技検査を行わない高校で実施することができる

形態…個人面接か集団面接，または両方実施

聞かれる内容…「なぜこの学校を志望したのか」「将来どのような職業につきたいか」など

▶合格者を決めるとき，点数化して合計点に加える

知っておくとためになる知識 4 実技検査について知っておこう！

実技検査 ➡ 芸術系学科・体育科（コース）などで実施

2016年春実施校（全日制）

伊奈学園総合（スポーツ科学系・芸術系）　大宮光陵（美術・音楽・書道）　大宮東（体育）　越生（美術）
芸術総合（美術・音楽・映像芸術・舞台芸術）　児玉（体育コース）　飯能南（スポーツコース）
ふじみ野（スポーツサイエンス）　松伏（音楽）　八潮（体育コース）

▶合格者を決めるとき，点数化して合計点に加える

知っておくとためになる知識

5 絶対評価？ 相対評価？

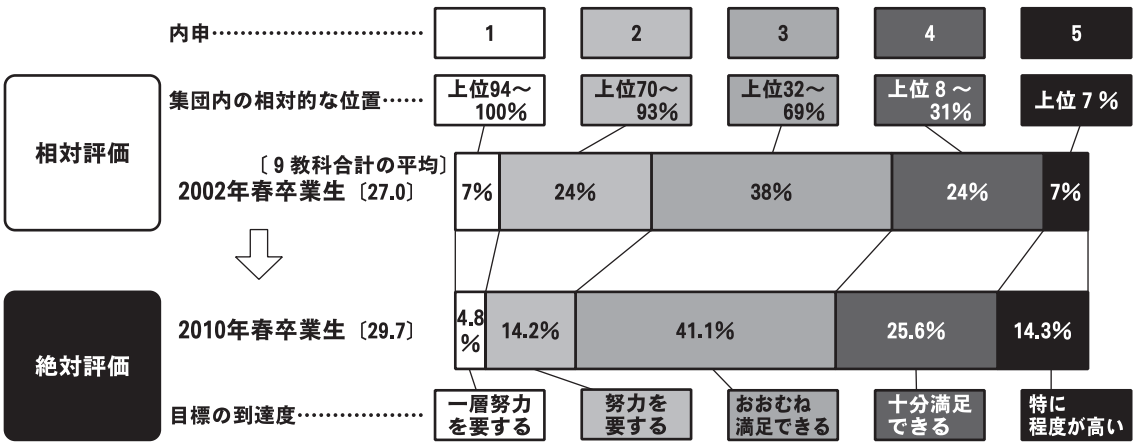
絶対評価に変わり，５と４の割合が拡大

内申（評定）は2003年春卒業生以降，相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での５段階の評定は「５」「１」各７％，「４」「２」各24％，「３」38％という配分が決まっていました。一方，絶対評価では，おもに「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技術・表現」「知識・理解」の４つの評価観点から，達成度によって５段階で評価されます。

グラフは，県内公立中学校の2002年と2010年春卒業生の第３学年１学期の９教科平均について，各内申の割合を示したものです（2010年は公立中学校83校抽出によるデータ）。相対評価と比べて「５」「４」の割合が大きくなり，「２」「１」が小さくなっています。つまり，絶対評価に変わって，内申が高めにつけられている傾向があることがわかります。

県は2011年から調査を取りやめていますが，大きな変動はないと思われます。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



知っておくとためになる知識

6 第３次選抜と第1・2次選抜の違いは？

第3次選抜は，おもに学力検査と調査書で選抜する2次選抜までの合格ラインに惜しくも届かなかった受験者が対象。「特別活動等の記録」など，第1次・2次選抜とは違った観点で選抜されます。

第３次選抜 ➡ 「学力検査」「内申」以外の項目で選考（ただし，１次選抜または２次選抜の合計点の順位が一定以上であることが条件）

第1・2次選抜 ➡ 「学力検査点」「調査書点」「その他の資料（面接など）」の合計点で選考

【例】春日部（2016年春）の第３次選抜
・募集人員…定員の１％（３～４人）　・条件…１次選抜の合計の順位が一定以上
・選考…「特別活動等の記録の得点」（100点満点）の上位３～４人を選抜

知っておくとためになる知識 7 人気があるのはどんな高校？

人気のある高校 ☆大学合格実績の高い学校　☆全国大会出場など部活の盛んな学校
☆通学の便利な学校

東大をはじめとする難関大学の合格実績が高い高校は注目度が高く，人気があります。また，甲子園など全国大会出場レベルの実績があるような部活動の盛んな高校も，部活に打ち込みたい生徒や応援したい生徒の人気を集めています。ほかには，ターミナル駅に近い高校なども通学しやすいということで，志願校選択の際のポイントになっています。

旧１学区南部（さいたま市など）は，「大学合格実績の高い学校」「通学に便利な学校」という２つの条件を満たす学校が比較的多いため，例年受験生の集中が見られます。

知っておくとためになる知識 8 高校再編，入試制度の移り変わり

埼玉県では，少子化への対応と公立高校の活性化を目指し，高校の統廃合や新校設置などが進められてきました。「21世紀いきいきハイスクール推進計画」は2013年に終了し，全日制高校は142校に削減。一方，入試制度は2010年に大変革が行われた後，2012年に前期・後期の募集が１本化され，2017年には「学校選択問題」の導入などが予定されています。

入試制度のおもな変更点

年　度	おもな学校改革（国の推進事業を含む）	入試制度のおもな変更点
～2009年		・1994年…普通科に推薦導入　・1996年…地域推薦を導入　・2004年…学区撤廃 ・2005年…「推薦」→「前期募集」，「一般」→「後期募集」，「地域推薦」→「地域選抜」に移行
2010年（平成22年）	新校開校 **蓮田松韻**〔**蓮田・菖蒲**を統合〕，**栗橋北彩**〔**栗橋・北川辺**を統合〕，**吹上秋桜**〔**吹上・鴻巣**（定時制）・**熊谷女子**（定時制）・**深谷商業**（定時制）を統合〕 ＳＳＨ（～2014年）**春日部**	選抜方法 ・入試日程を繰り下げ ・前期募集枠を総定員の80％程度（普通科・専門学科の一部50～75％，専門学科の一部，総合学科50～100％）に拡大 ・前期募集で５教科の学力検査を実施 ・後期募集の学力検査を５教科→３教科に ・前後期ともに各校選抜基準を事前に公表 ・学力検査，調査書（学校により実技検査または面接を実施）の各得点に各校が定める定数を乗じた換算点の合計値に基づく選抜に（「学力検査」：「調査書」の比率は，1次選抜では「6：4」～「4：6」，2次選抜では「7：3」～「3：7」からの選抜）
2011年（平成23年）	募集停止 **幸手，福岡，入間，本庄北，玉川工業，幸手商業**（定時制），**松山**（定時制），**児玉**（定時制），**和光国際**（情報処理科），**与野**（商業科・理数コース），**越谷東**（国際文化コース） 学科改編 **和光国際**…情報処理科を普通科に転換　**与野**…商業科を普通科に転換 推進校 進学指導重点推進校（～2012年）：**県立浦和，浦和第一女子，浦和西，大宮，春日部，県立川越，川越女子，熊谷，熊谷女子，越谷北，不動岡** ＳＳＨ（～2015年）**県立川越，川越女子，熊谷，不動岡**	
2012年（平成24年）	ＳＳＨ（～2016年）**浦和第一女子，熊谷女子，熊谷西，松山**	選抜方法 ・入試が，２回（前期募集・後期募集）から１回（一般募集）に
2013年（平成25年）	新校開校 **幸手桜**〔**幸手商業・幸手**を統合〕，**ふじみ野**〔**大井・福岡**を統合〕，**吉川美南**〔**吉川・草加**（定時制）を統合〕，**豊岡**〔**豊岡・入間**を統合〕，**本庄**〔**本庄・本庄北**を統合〕	
2014年（平成26年）	学科改編 **市立大宮北**…理数科を設置 ＳＧＨ（～2018年）**県立浦和**	
2015年（平成27年）	ＳＳＨ（～2019年）**春日部** ＳＧＨ（～2019年）**不動岡，浦和第一女子**（アソシエイト）	
2016年（平成28年）	学科改編 **所沢北**…理数科を設置　**熊谷**…単位制に移行 **三郷**…普通科・情報コースを一括募集に ＳＳＨ（～2020年）**市立大宮北**　ＳＧＨ（～2020年）**浦和第一女子**	
2017年（平成29年）		選抜方法 ・学力検査の社・理を各40分→各50分に ・学力検査の数・英で一部に「学校選択問題」の実施が可能に
2018年（平成30年）予定	新校開校 **川口市立**（**市立川口・川口総合・県陽**を統合） 募集停止 **市立大宮西**（2019年に中等教育学校へ移行）	

ＳＳＨ…文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール　ＳＧＨ…文部科学省が指定するスーパーグローバルハイスクール